

令和6年度・内航タンカー船員実態調査報告書

令和7年4月18日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

はじめに	…	1
1. 回答状況	…	2
2. 年齢構成（乗・下船中の分類）	…	4
3. 年齢別船員数及び割合の推移（10年間）	…	5
4. 総トン数・船種別平均年齢（乗船中船員）	…	6
5. 職種別平均年齢（乗・下船船員の合計）	…	9
6. 入社歴及び前職	…	10
7. 採用・退職関係	…	13
8. 海技免状保有状況	…	16
9. 船舶料理士保有状況	…	16
10. STCW基本訓練受講状況・予定	…	16
11. 船員不足の考察	…	17
12. 船員対策委員会からの提言	…	18

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、関係者の理解促進に役立てることを目的に、毎年**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び下船中船員の年齢構成、採用・退職状況等を調査しています。(平成17年に調査開始)

令和6年度も、運送事業者(オペレーター)を経由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いしました。今年度も回収率を上げるべく、対象事業者船員担当者様の協力を得て提出をお願いし、**回収率は71.4%**(対象1,036隻の内、740隻の回答)と、例年並みの回収率が確保出来ました。

回収率の内訳をみると、船型では**200G/T未満の小型船(回収率38.7%)**、船種では**特タン船(回収率64.2%)**、**ガス船(回収率63.1%)**の回収率が**低い**という、例年同様の傾向となり、回収率を上げていくことは課題ではありますが、概ね実態が反映される水準は保たれたものと思われま

す。今回の調査から推計される船員総数は、**9,457名(前年度9,303名)**で前年比**154名増**となりました。これは、**対象隻数(1,036隻)**、**予備員率(1.40)**に大きな変化が無く、**新卒者の採用が大幅に減少(300名→224名)**したことを考えると、中型船以上では船員需給が安定し推移したものと推測されます。しかしながら、**採用の難しさ、定着性の悪さ、他船種・他業種への流出**は、依然課題として残されたままとなっており、船員不足につながるこれらの要因は、一つ一つ排除する努力が必要ではないかと思われま

す。また、今回の調査による船員の**平均年齢は45.2才(前年度45.4才)**で、若干の若返りとなりました。これは、近年における各社の新卒者の採用増に伴い**若年世代が増加(30才未満割合10年で5.1%増加)**したことで、**高齢世代割合が減少(50歳以上割合10年で12.3%減少)**したことが一因ですが、この傾向とは別に、**若年層の早期退職者の増加**や**70歳以上の高齢船員への依存割合が高まっている**ことへも早急に対応が望まれます。

また、このほかにも本報告書では、組合員各社からの貴重な実態を集計した上で、数多くの統計的データとしてまとめておりますので、是非、各社・グループの船員対策等にご活用下さい。

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員が退職し、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このためには、令和4年4月から実施された「内航船員の働き方改革」に関連する法改正に対して、組合員各社がコンプライアンスを前提にした取り組みが可能となるよう、業界団体としてサポートを行い、さらには、船員の労働環境改善に向けた取り組みについて、荷主や行政への理解、協力につなげて行くことが最重要課題と思っております。

最後になりますが、本調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に改めて厚くお礼を申し上げますと共に、今後ともご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会
委員長 越智 崇

1. 回答状況

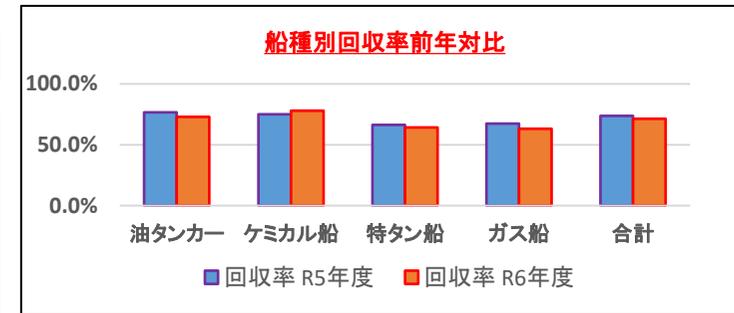
(1)対象隻数 : 1,036隻 (2)回答隻数 : 740隻 (回収率:71.4%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率71.4%の内訳は下段表のとおり。(本年度は、特タン船、ガス船、小型船の事業者からの提出割合が低い)

(3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
油タンカー	574	581	440	424	76.7%	73.0%
ケミカル船	188	185	141	144	75.0%	77.8%
特タン船	157	148	104	95	66.2%	64.2%
ガス船	123	122	83	77	67.5%	63.1%
合計	1,042	1,036	768	740	73.7%	71.4%



(4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
200GT未満	242	243	116	94	47.9%	38.7%
200～500GT	352	348	282	265	80.1%	76.1%
500～750GT	184	184	141	152	76.6%	82.6%
750GT以上	264	261	229	229	86.7%	87.7%
合計	1,042	1,036	768	740	73.7%	71.4%



(5)回答船員数

()は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,366名(7,308名) ①乗船中の船員数5,244名(5,238名) ②下船中の船員数2,122名(2,070名)

(6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

合計(乗船中・下船中)9,457名(9,303名) ①乗船中の船員数6,733名(6,668名) ②下船中の船員数2,724名(2,635名)

※ 推計船員数は154名増加しているが、予備員率(1.40→1.40)も含め、ほぼ昨年並みの船員数が維持出来たと推計。

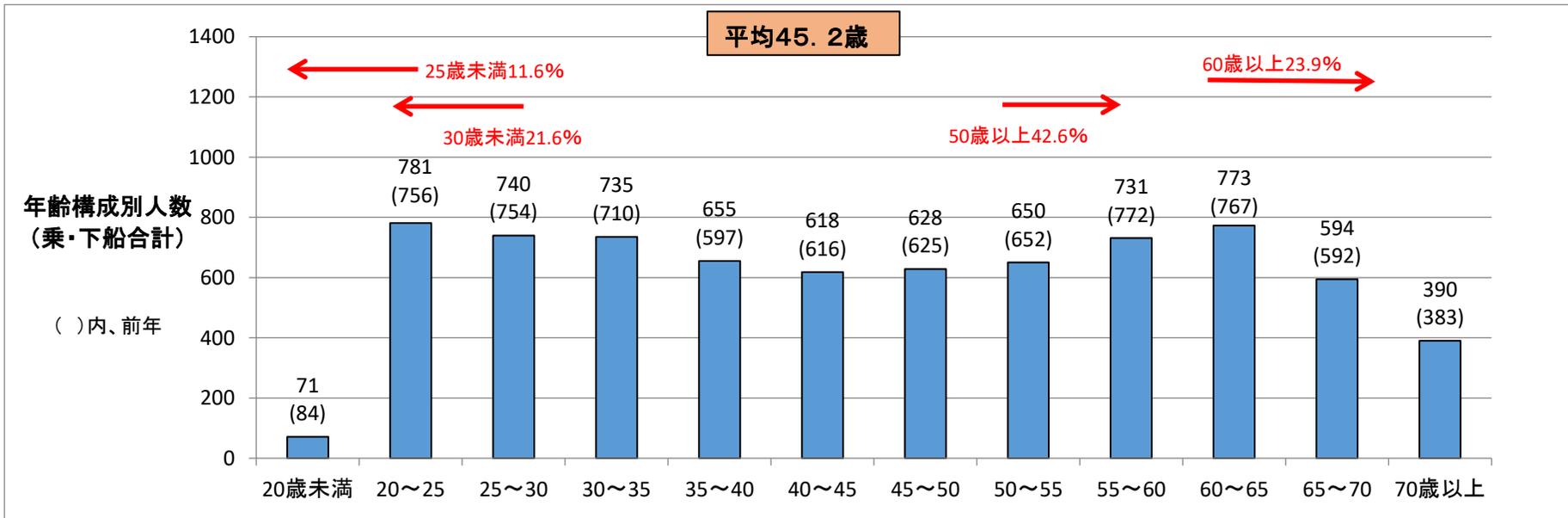
◎ 回答状況(詳細)

乗船中船員の集計	船種	船型区分 G/T	対象隻数	回答隻数	回収率	回答船員数	平均乗員数	推計船員数
			①	②	③ (②/①)	④	④/②	⑤ (④/③)
乗船中船員の集計	油タンカー	200未満	196	75	38.3%	256	3.4	669
		～500未満	128	105	82.0%	532	5.1	649
		～750未満	54	51	94.4%	362	7.1	383
		～1000未満	49	46	93.9%	422	9.2	450
		～1600未満	2	2	100.0%	10	5.0	10
		～3000未満	27	21	77.8%	219	10.4	282
		3000以上	125	124	99.2%	1,474	11.9	1,486
	小計		581	424	73.0%	3,275	7.7	3,928
	ケミカル船	200未満	3	1	33.3%	2	2.0	6
		～500未満	136	104	76.5%	566	5.4	740
		～750未満	42	36	85.7%	220	6.1	257
		～1000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		～1600未満	4	3	75.0%	35	11.7	47
		～3000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		3000以上	0	0	0.0%	0	0.0	0
	小計		185	144	77.8%	823	5.7	1,049
	特ダシ船	200未満	44	18	40.9%	75	4.2	183
		～500未満	75	52	69.3%	257	4.9	371
		～750未満	25	22	88.0%	149	6.8	169
		～1000未満	3	2	66.7%	20	10.0	30
		～1600未満	1	1	100.0%	10	10.0	10
～3000未満		0	0	0.0%	0	0.0	0	
3000以上		0	0	0.0%	0	0.0	0	
小計		148	95	64.2%	511	5.4	763	
ガス船	200未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	～500未満	9	4	44.4%	21	5.3	47	
	～750未満	63	43	68.3%	292	6.8	428	
	～1000未満	27	12	44.4%	110	9.2	248	
	～1600未満	11	7	63.6%	78	11.1	123	
	～3000未満	6	6	100.0%	69	11.5	69	
	3000以上	6	5	83.3%	65	13.0	78	
小計		122	77	63.1%	635	8.2	992	
合計	200未満	243	94	38.7%	333	3.5	858	
	～500未満	348	265	76.1%	1,376	5.2	1,807	
	～750未満	184	152	82.6%	1,023	6.7	1,237	
	～1000未満	79	60	75.9%	552	9.2	727	
	～1600未満	18	13	72.2%	133	10.2	189	
	～3000未満	33	27	81.8%	288	10.7	351	
	3000以上	131	129	98.5%	1,539	11.9	1,564	
合計		1,036	740	71.4%	5,244	7.1	6,733	
下船中船員の集計						回答船員数 ⑥	予備員率 ⑦(⑥/④+1)	推計予備員数 ⑧(⑤×⑦-⑤)
						2,122	1.40	2,724
総合計 (⑤+⑧)				回答数計	7,366	推計船員数	9,457	

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20~25	25~30	30~35	35~40	40~45	45~50	50~55	55~60	60~65	65~70	70歳以上	計
乗船中	人数	43	535	531	513	479	463	473	466	531	567	402	241	5,244
	年齢計	795	11,849	14,352	16,393	17,717	19,452	22,231	24,171	30,261	35,049	26,879	17,530	236,679
	平均年齢	18.5	22.1	27.0	32.0	37.0	42.0	47.0	51.9	57.0	61.8	66.9	72.7	45.1
	比率	0.8%	10.2%	10.1%	9.8%	9.1%	8.8%	9.0%	8.9%	10.1%	10.8%	7.7%	4.6%	100%
下船中	人数	28	246	209	222	176	155	155	184	200	206	192	149	2,122
	年齢計	527	5,447	5,619	7,097	6,503	6,499	7,302	9,568	11,404	12,757	12,826	10,842	96,391
	平均年齢	18.8	22.1	26.9	32.0	36.9	41.9	47.1	52.0	57.0	61.9	66.8	72.8	45.4
	比率	1.3%	11.6%	9.8%	10.5%	8.3%	7.3%	7.3%	8.7%	9.4%	9.7%	9.0%	7.0%	100%
合計	人数	71	781	740	735	655	618	628	650	731	773	594	390	7,366
	年齢計	1,322	17,296	19,971	23,490	24,220	25,951	29,533	33,739	41,665	47,806	39,705	28,372	333,070
	平均年齢	18.6	22.1	27.0	32.0	37.0	42.0	47.0	51.9	57.0	61.8	66.8	72.7	45.2
	比率	1.0%	10.6%	10.0%	10.0%	8.9%	8.4%	8.5%	8.8%	9.9%	10.5%	8.1%	5.3%	100%
女性船員(上記の内数)	3	26	15	10	2	1	1	4	1	0	0	1	64	
		前年比△3名、平均年齢28.5歳、D職員24名(内、船長1名、一航5名)、D部員22名、E職員10名(内、機長1名、一機6名)、E部員5名、司厨員3名												
派遣船員(上記の内数)	0	28	26	27	20	24	29	35	34	43	48	28	342	
		前年比△29名、平均年齢54.3歳(D職員141名、D部員65名、E職員82名、E部員14名、司厨員40名)												



- ① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は**45.2歳**(前年度45.4歳)で、0.2歳若返り。
- ② 要因として、30歳未満の若年船員がここ数年各社の積極的な新卒採用により増加し、50歳以上船員の占める割合も僅かに減少している。

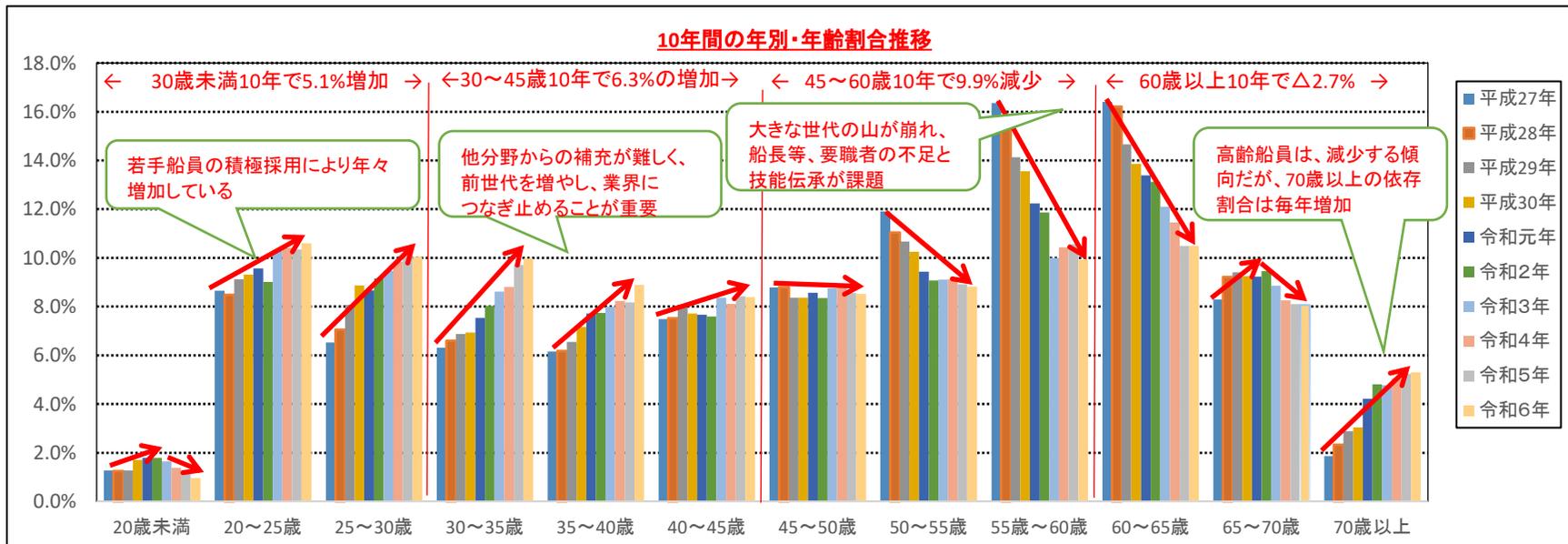
3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

(1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	報告船員数
平成27年	85	578	436	421	411	500	587	795	1,092	1,095	554	124	6,678
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
平成29年	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
平成30年	127	693	660	516	533	574	623	763	1,009	1,031	689	226	7,444
令和元年	135	719	651	566	580	576	644	709	919	1,006	694	317	7,516
令和2年	128	645	655	574	554	543	598	649	849	939	677	344	7,155
令和3年	124	776	713	649	602	630	659	686	753	911	667	359	7,529
令和4年	104	780	738	660	617	608	667	684	782	858	619	378	7,495
令和5年	84	756	754	710	597	616	625	652	772	767	592	383	7,308
令和6年	71	781	740	735	655	618	628	650	731	773	594	390	7,366
合計	1,049	7,057	6,488	5,848	5,510	5,835	6,327	7,228	9,131	9,712	6,493	2,915	73,593

(2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	合計
平成27年	1.3%	8.7%	6.5%	6.3%	6.2%	7.5%	8.8%	11.9%	16.4%	16.4%	8.3%	1.9%	100.0%
平成28年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%
平成29年	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100.0%
平成30年	1.7%	9.3%	8.9%	6.9%	7.2%	7.7%	8.4%	10.2%	13.6%	13.9%	9.3%	3.0%	100.0%
令和元年	1.8%	9.6%	8.7%	7.5%	7.7%	7.7%	8.6%	9.4%	12.2%	13.4%	9.2%	4.2%	100.0%
令和2年	1.8%	9.0%	9.2%	8.0%	7.7%	7.6%	8.4%	9.1%	11.9%	13.1%	9.5%	4.8%	100.0%
令和3年	1.6%	10.3%	9.5%	8.6%	8.0%	8.0%	8.8%	9.1%	10.0%	12.1%	8.9%	4.8%	100.0%
令和4年	1.4%	10.4%	9.8%	8.8%	8.2%	8.1%	8.9%	9.1%	10.4%	11.4%	8.3%	5.0%	100.0%
令和5年	1.1%	10.3%	10.3%	9.7%	8.2%	8.4%	8.6%	8.9%	10.6%	10.5%	8.1%	5.2%	100.0%
令和6年	1.0%	10.6%	10.0%	10.0%	8.9%	8.4%	8.5%	8.8%	9.9%	10.5%	8.1%	5.3%	100.0%



4. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

(1) 総トン数別平均年齢

	6年度				2年度 平均年齢	3年度 平均年齢	4年度 平均年齢	5年度 平均年齢	6年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	94	333	3.5	15,887	49.9	49.3	48.6	48.0	47.7
500未満	265	1,376	5.2	65,550	49.3	48.2	47.8	48.4	47.6
750未満	152	1,023	6.7	49,000	49.9	48.5	48.1	48.0	47.9
1000未満	60	552	9.2	24,842	46.0	45.1	44.6	45.1	45.0
1600未満	13	133	10.2	5,269	40.8	39.5	39.0	39.3	39.6
3000未満	27	288	10.7	12,308	44.1	42.5	42.8	41.7	42.7
3000以上	129	1,539	11.9	63,823	41.7	41.1	41.5	40.6	41.5
合計	740	5,244	7.1	236,679	46.6	46.6	45.5	45.1	45.1

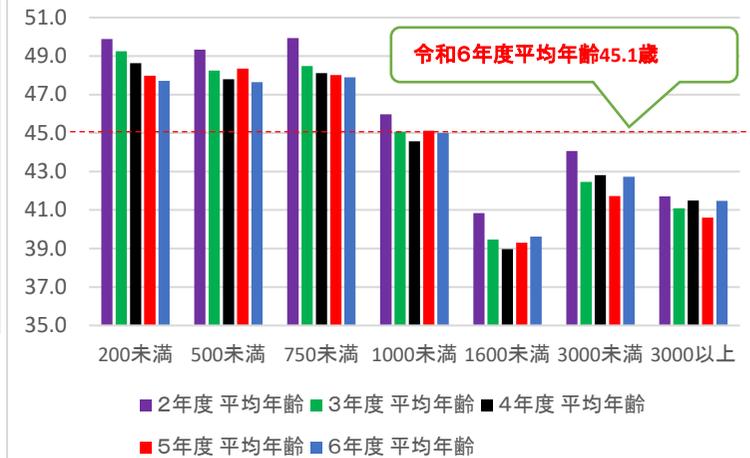
・本年度乗船中の平均年齢はの45.1歳(昨年45.1)であったが、船型別にみると、200GT未満船の47.7歳に対して、3,000GT以上船は41.5歳であり、小型船／大型船での平均年齢差は約6.2歳(昨年7.4歳)とやや狭まる。

(2) 船種別平均年齢(乗船中)

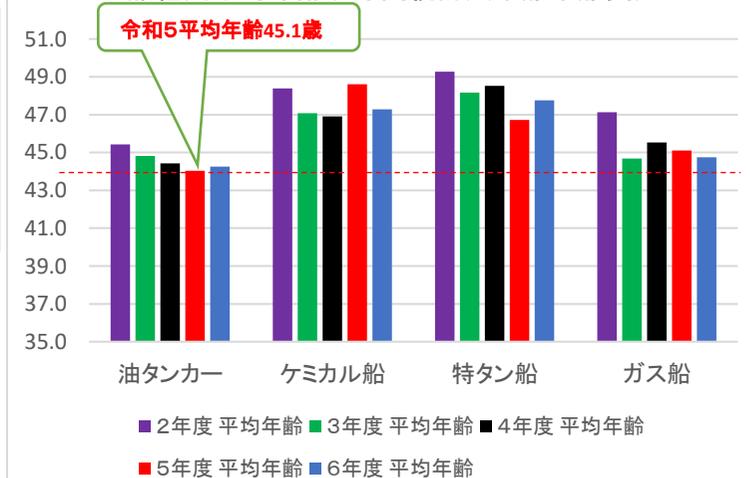
	6年度				2年度 平均年齢	3年度 平均年齢	4年度 平均年齢	5年度 平均年齢	6年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	424	3,275	7.7	144,956	45.4	44.8	44.4	44.0	44.3
ケミカル船	144	823	5.7	38,910	48.4	47.1	46.9	48.6	47.3
特タン船	95	511	5.4	24,402	49.3	48.2	48.5	46.7	47.8
ガス船	77	635	8.2	28,411	47.1	44.7	45.5	45.1	44.7
合計	740	5,244	7.1	236,679	46.6	45.5	45.3	45.1	45.1

・令和6年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(44.3歳)とガス船(44.7歳)。
・全体的に船種間の年齢格差は、狭まっている傾向。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



(年齢構成:船種別詳細①)

	20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計	
白	200未満	0	1	8	5	3	5	5	9	5	8	8	9	66
	～500未満	0	7	12	18	11	8	11	17	21	15	8	13	141
	～750未満	2	16	23	33	29	31	36	18	30	32	32	16	298
	～1000未満	3	18	22	17	24	23	8	13	10	22	12	10	182
	～1600未満	0	2	0	1	1	0	2	2	1	1	0	0	10
	～3000未満	1	26	21	25	16	12	19	11	23	23	14	9	200
	3000以上	13	206	127	108	94	91	94	103	96	88	72	19	1,111
	人数	19	276	213	207	178	170	175	173	186	189	146	76	2,008
	年齢計	355	6,087	5,779	6,602	6,576	7,122	8,228	8,977	10,591	11,681	9,758	5,495	87,251
平均	18.7	22.1	27.1	31.9	36.9	41.9	47.0	51.9	56.9	61.8	66.8	72.3	43.5	
黒	200未満	1	12	22	24	24	13	19	13	24	15	9	14	190
	～500未満	3	16	42	35	43	45	38	34	41	42	26	26	391
	～750未満	0	1	6	9	5	7	8	7	6	4	8	3	64
	～1000未満	2	16	21	25	17	29	25	10	26	31	22	16	240
	～1600未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～3000未満	0	2	0	3	0	1	2	1	3	6	1	0	19
	3000以上	3	60	36	39	33	26	30	31	39	30	29	7	363
	人数	9	107	127	135	122	121	122	96	139	128	95	66	1,267
	年齢計	166	2,385	3,445	4,328	4,521	5,106	5,755	4,969	7,939	7,905	6,346	4,840	57,705
平均	18.4	22.3	27.1	32.1	37.1	42.2	47.2	51.8	57.1	61.8	66.8	73.3	45.5	
ケミカル	200未満	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	～500未満	3	32	52	47	58	52	50	48	66	64	55	39	566
	～750未満	0	18	19	18	14	23	22	22	23	33	17	11	220
	～1000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～1600未満	2	4	7	1	5	3	4	2	2	4	0	1	35
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	5	54	78	66	78	79	76	72	91	101	72	51	823
	年齢計	91	1,185	2,090	2,096	2,879	3,333	3,570	3,742	5,168	6,243	4,829	3,684	38,910
平均	18.2	21.9	26.8	31.8	36.9	42.2	47.0	52.0	56.8	61.8	67.1	72.2	47.3	
特タン	200未満	0	3	6	4	8	4	8	8	7	11	7	9	75
	～500未満	3	10	26	19	24	24	34	29	25	26	23	14	257
	～750未満	0	7	10	11	14	16	12	22	18	24	13	2	149
	～1000未満	1	2	3	3	1	1	2	4	1	1	0	1	20
	～1600未満	0	2	1	0	1	4	0	0	1	0	1	0	10
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	4	24	46	37	48	49	56	63	52	62	44	26	511
	年齢計	74	542	1,232	1,189	1,769	2,051	2,611	3,278	2,973	3,844	2,939	1,900	24,402
平均	18.5	22.6	26.8	32.1	36.9	41.9	46.6	52.0	57.2	62.0	66.8	73.1	47.8	
ガス	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～500未満	0	1	0	0	1	0	1	3	3	5	6	1	21
	～750未満	3	20	20	24	21	17	21	39	34	50	26	17	292
	～1000未満	0	13	12	16	13	8	9	6	10	12	9	2	110
	～1600未満	2	15	10	10	6	6	6	6	6	7	3	1	78
	～3000未満	0	11	14	13	7	6	4	5	6	3	0	0	69
	3000以上	1	14	11	5	5	7	3	3	4	10	1	1	65
	人数	6	74	67	68	53	44	44	62	63	87	45	22	635
	年齢計	109	1,650	1,806	2,178	1,972	1,840	2,067	3,205	3,590	5,376	3,007	1,611	28,411
平均	18.2	22.3	27.0	32.0	37.2	41.8	47.0	51.7	57.0	61.8	66.8	73.2	44.7	

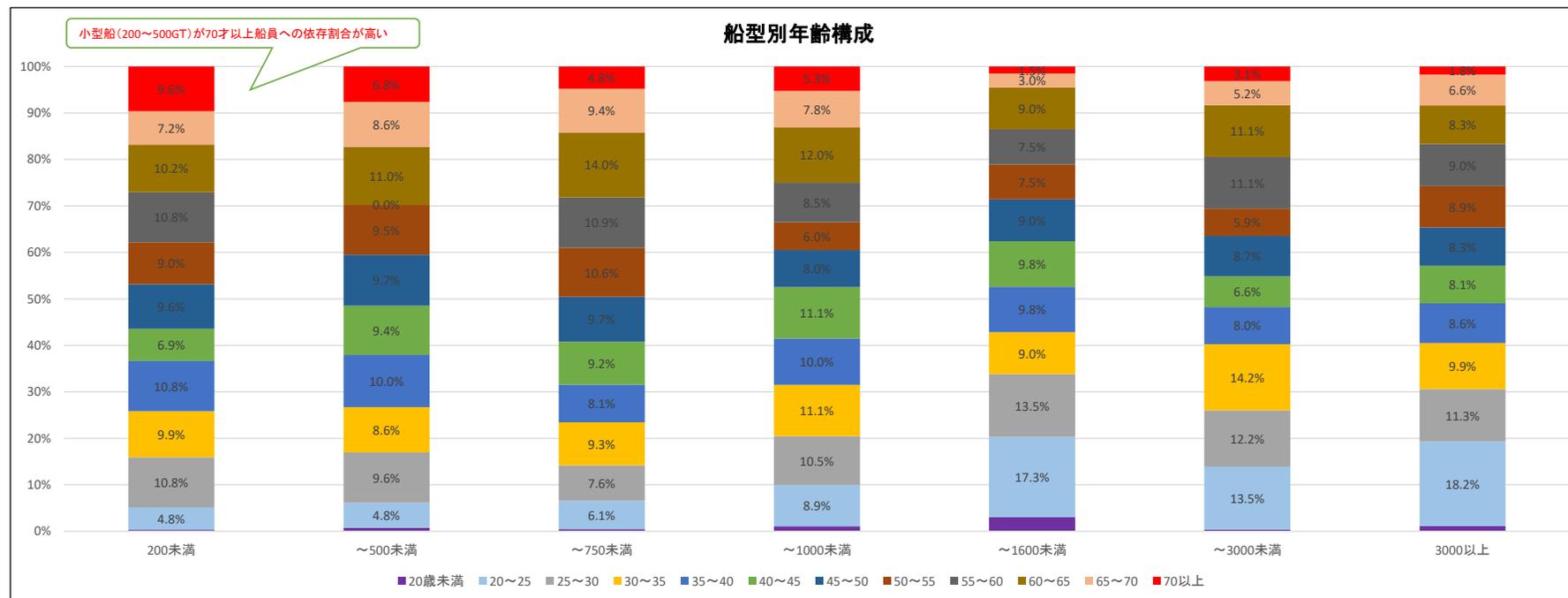
(年齢構成:船型別人数合計)

		20歳未満	20~25	25~30	30~35	35~40	40~45	45~50	50~55	55~60	60~65	65~70	70以上	計
合計	200未満	1	16	36	33	36	23	32	30	36	34	24	32	333
	~500未満	9	66	132	119	137	129	134	131		152	118	93	1,376
	~750未満	5	62	78	95	83	94	99	108	111	143	96	49	1,023
	~1000未満	6	49	58	61	55	61	44	33	47	66	43	29	552
	~1600未満	4	23	18	12	13	13	12	10	10	12	4	2	133
	~3000未満	1	39	35	41	23	19	25	17	32	32	15	9	288
	3000以上	17	280	174	152	132	124	127	137	139	128	102	27	1,539
	人数	43	535	531	513	479	463	473	466	531	567	402	241	5,244
	年齢計	795	11,849	14,352	16,393	17,717	19,452	22,231	24,171	30,261	35,049	26,879	17,530	236,679
平均	18.5	22.1	27.0	32.0	37.0	42.0	47.0	51.9	57.0	61.8	66.9	72.7	45.1	

(船型別年齢構成割合)

		20歳未満	20~25	25~30	30~35	35~40	40~45	45~50	50~55	55~60	60~65	65~70	70以上	計
合計	200未満	0.3%	4.8%	10.8%	9.9%	10.8%	6.9%	9.6%	9.0%	10.8%	10.2%	7.2%	9.6%	100.0%
	~500未満	0.7%	4.8%	9.6%	8.6%	10.0%	9.4%	9.7%	9.5%	0.0%	11.0%	8.6%	6.8%	100.0%
	~750未満	0.5%	6.1%	7.6%	9.3%	8.1%	9.2%	9.7%	10.6%	10.9%	14.0%	9.4%	4.8%	100.0%
	~1000未満	1.1%	8.9%	10.5%	11.1%	10.0%	11.1%	8.0%	6.0%	8.5%	12.0%	7.8%	5.3%	100.0%
	~1600未満	3.0%	17.3%	13.5%	9.0%	9.8%	9.8%	9.0%	7.5%	7.5%	9.0%	3.0%	1.5%	100.0%
	~3000未満	0.3%	13.5%	12.2%	14.2%	8.0%	6.6%	8.7%	5.9%	11.1%	11.1%	5.2%	3.1%	100.0%
	3000以上	1.1%	18.2%	11.3%	9.9%	8.6%	8.1%	8.3%	8.9%	9.0%	8.3%	6.6%	1.8%	100.0%
	割合	0.8%	10.2%	10.1%	9.8%	9.1%	8.8%	9.0%	8.9%	10.1%	10.8%	7.7%	4.6%	100.0%

(船型別年齢構成割合グラフ)



5. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,080	59,316	54.9
一航士	952	42,616	44.8
次席一航士	195	8,924	45.8
二航士	842	36,471	43.3
三航士	278	10,371	37.3
小計	3,347	157,698	47.1
甲板長	172	8,747	50.9
甲板手	530	19,159	36.1
甲板員	490	17,252	35.2
見習い	14	383	27.4
司厨員	471	24,962	53.0
小計	1,677	70,503	42.0
機関長	1,012	52,483	51.9
一機士	710	31,220	44.0
次席一機士	47	2,086	44.4
二機士	223	7,765	34.8
三機士	23	728	31.7
小計	2,015	94,282	46.8
操機長	31	1,320	42.6
操機手	54	1,358	25.1
機関員	231	7,555	32.7
見習い	11	354	32.2
小計	327	10,587	32.4
合計	7,366	333,070	45.2

(職種別平均年齢の前年対比)

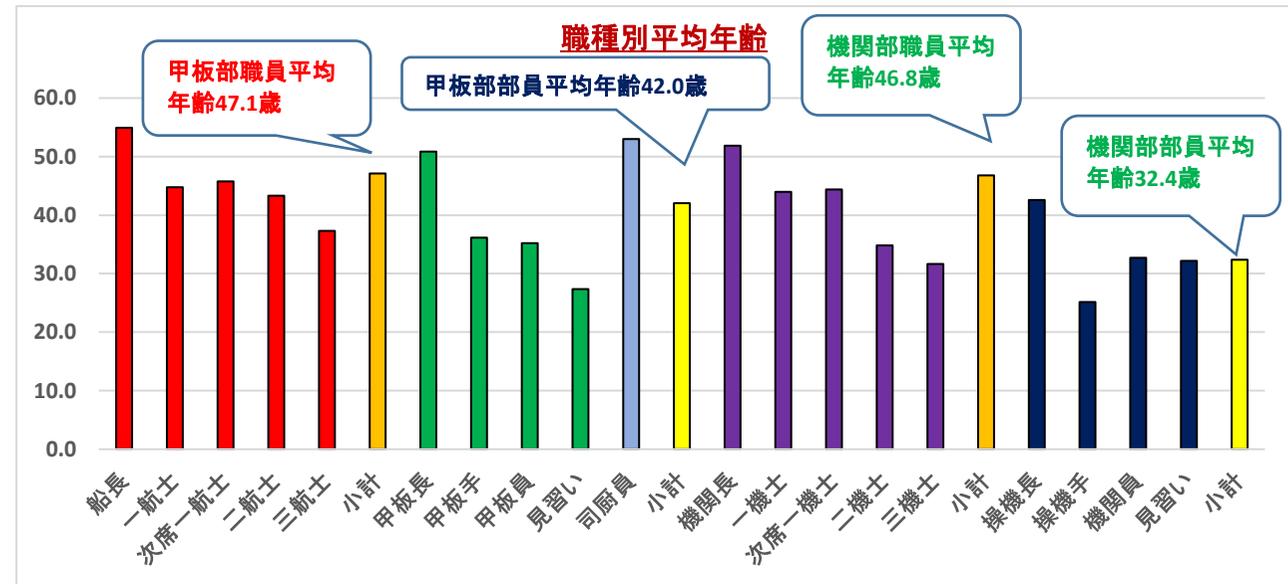
職種	R6年度	R5年度	対比
甲板部職員	47.1	47.1	-0.0
部員	42.0	41.8	0.3
機関部職員	46.8	47.4	-0.7
部員	32.4	31.6	0.8

(2) 航海/機関別

(註)本表中、司厨員は甲板部員に参入

R6年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,347	157,698	47.1
	部員	1,677	70,503	42.0
	小計	5,024	228,201	45.4
機関部	職員	2,015	94,282	46.8
	部員	327	10,587	32.4
	小計	2,342	104,869	44.8
合計		7,366	333,070	45.2

R5年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,349	157,799	47.1
	部員	1,608	67,194	41.8
	小計	4,957	224,993	45.4
機関部	職員	2,043	96,925	47.4
	部員	308	9,738	31.6
	小計	2,351	106,663	45.4
合計		7,308	331,656	45.4



・令和6年度の職種毎の平均年齢は上表のとおりである。

・前年度平均年齢と比較すると、甲板部職員は±0歳、甲板部部員は+0.3歳、機関部職員は△0.7歳、機関部部員は+0.8歳。

6. 入社歴及び前職

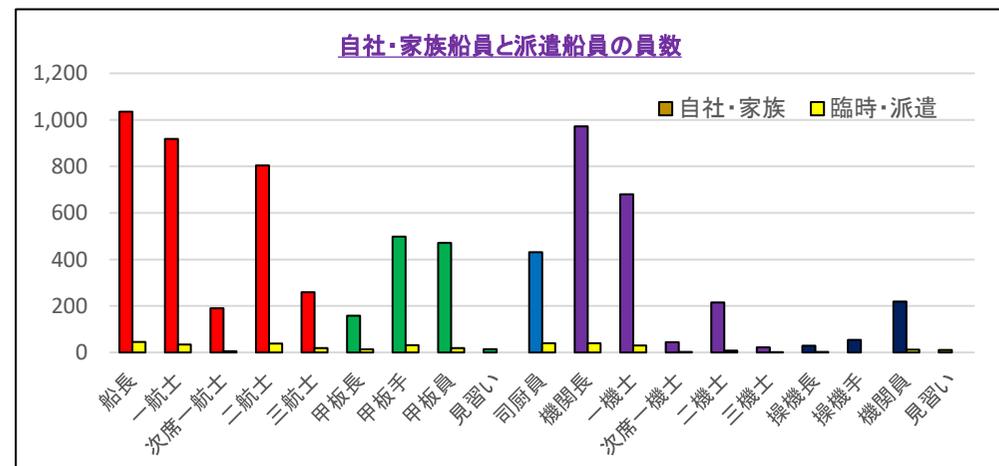
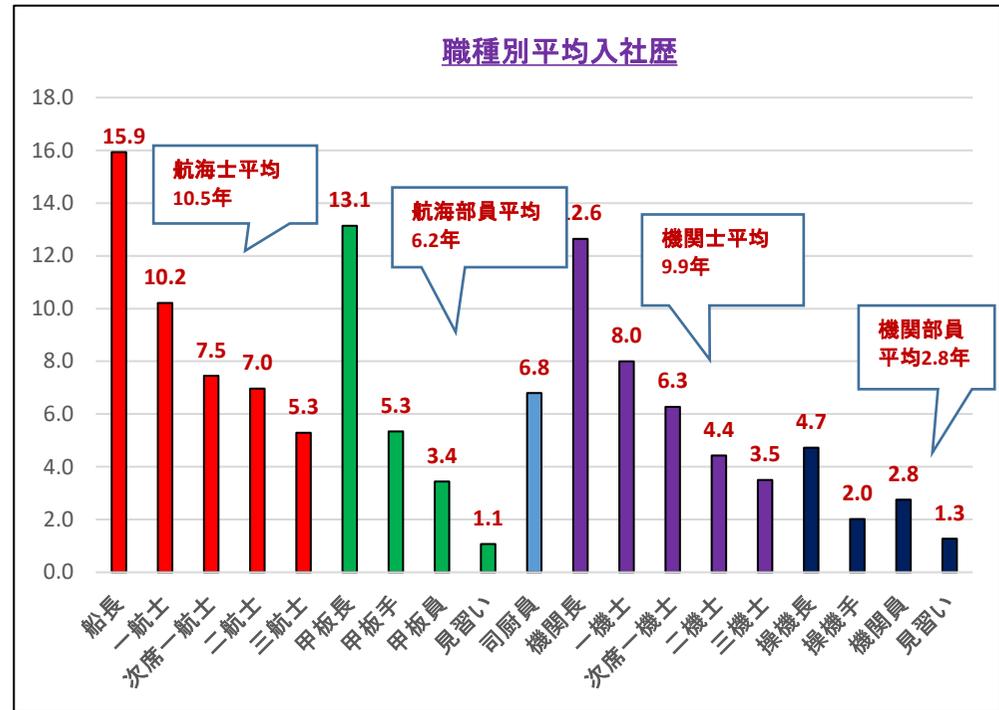
(1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

	船員数	内訳 (*1)			平均入社歴
		自社・家族	臨時・派遣	入社歴計	
船長	1,080	1,035	45	16,490	15.9
一航士	952	918	34	9,375	10.2
次席一航士	195	190	5	1,416	7.5
二航士	842	804	38	5,600	7.0
三航士	278	259	19	1,370	5.3
小計	3,347	3,206	141	34,251	10.7
甲板長	172	158	14	2,076	13.1
甲板手	530	498	32	2,660	5.3
甲板員	490	471	19	1,621	3.4
見習い	14	14	0	15	1.1
司厨員	471	431	40	2,931	6.8
小計	1,677	1,572	105	9,303	5.9
機関長	1,012	972	40	12,289	12.6
一機士	710	680	30	5,438	8.0
次席一機士	47	44	3	276	6.3
二機士	223	215	8	952	4.4
三機士	23	22	1	77	3.5
小計	2,015	1,933	82	19,032	9.8
操機長	31	29	2	137	4.7
操機手	54	54	0	109	2.0
機関員	231	219	12	603	2.8
見習い	11	11	0	14	1.3
小計	327	313	14	863	2.8
合計	7,366	7,024	342	63,449	9.0

(*2)

(*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

・自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、**自社・家族95.4%**(前年度94.9%)、**臨時・派遣4.6%**(前年度5.1%)で、臨時・派遣船員割合が若干減少。



(2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	107	29	410	183	39	32	58	5	83	111	23	1,080
一航士	154	25	312	139	47	29	50	2	56	120	18	952
次席一航士	19	8	68	32	9	8	22	0	10	16	3	195
二航士	184	10	229	93	38	33	62	5	29	138	21	842
三航士	94	4	76	10	8	1	19	1	9	48	8	278
小計	558	76	1,095	457	141	103	211	13	187	433	73	3,347
割合	16.7%	2.3%	32.7%	13.7%	4.2%	3.1%	6.3%	0.4%	5.6%	12.9%	2.2%	100%
甲板長	20	4	51	13	2	1	10	2	24	38	7	172
甲板手	209	22	97	6	6	1	18	3	34	121	13	530
甲板員	113	14	87	8	6	0	20	1	30	204	7	490
見習い	5	2	1	0	0	0	1	0	0	5	0	14
司厨員	16	2	117	10	9	1	15	4	7	276	14	471
小計	363	44	353	37	23	3	64	10	95	644	41	1,677
割合	21.6%	2.6%	21.0%	2.2%	1.4%	0.2%	3.8%	0.6%	5.7%	38.4%	2.4%	100.0%
機関長	97	13	348	157	48	30	68	12	81	136	22	1,012
一機士	128	17	204	76	25	13	34	7	45	147	14	710
次席一機士	3	2	18	5	3	0	2	0	3	11	0	47
二機士	87	8	45	8	4	1	10	0	8	48	4	223
三機士	11	1	2	0	0	0	3	1	1	4	0	23
小計	326	41	617	246	80	44	117	20	138	346	40	2,015
割合	16.2%	2.0%	30.6%	12.2%	4.0%	2.2%	5.8%	1.0%	6.8%	17.2%	11.6%	100%
操機長	9	0	5	5	0	2	1	1	1	7	0	31
操機手	38	1	1	0	0	0	2	0	0	10	2	54
機関員	52	9	34	11	0	2	6	0	18	96	3	231
見習い	2	0	1	1	0	0	0	0	0	7	0	11
小計	101	10	41	17	0	4	9	1	19	120	5	327
総計	1,348	171	2,106	757	244	154	401	44	439	1,543	159	7,366
割合	18.3%	2.3%	28.6%	10.3%	3.3%	2.1%	5.4%	0.6%	6.0%	20.9%	2.2%	100%

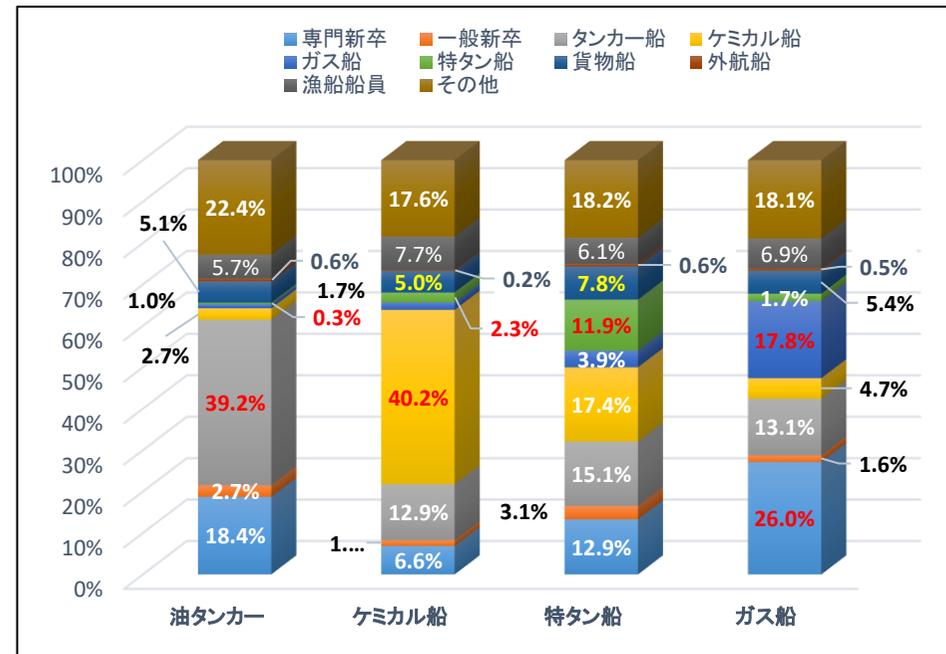
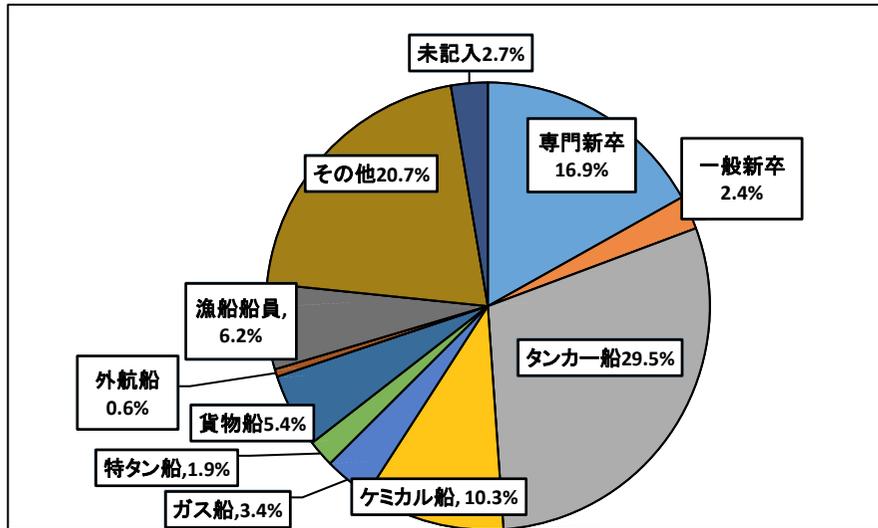
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、タンカー経験者28.6%、その他20.9%、専門学校新卒者が18.6%、ケミカル船が10.3%、漁船が6.0%、貨物船が5.4%となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	602	90	1,283	90	32	11	166	21	186	733	61	3,275
ケミカル船	54	11	106	331	14	19	41	2	63	145	37	823
特タン船	66	16	77	89	20	61	40	3	31	93	15	511
ガス船	165	10	83	30	113	11	34	3	44	115	27	635
合計	887	127	1,549	540	179	102	281	29	324	1,086	140	5,244
比率	16.9%	2.4%	29.5%	10.3%	3.4%	1.9%	5.4%	0.6%	6.2%	20.7%	2.7%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	18.4%	2.7%	39.2%	2.7%	1.0%	0.3%	5.1%	0.6%	5.7%	22.4%
ケミカル船	6.6%	1.3%	12.9%	40.2%	1.7%	2.3%	5.0%	0.2%	7.7%	17.6%
特タン船	12.9%	3.1%	15.1%	17.4%	3.9%	11.9%	7.8%	0.6%	6.1%	18.2%
ガス船	26.0%	1.6%	13.1%	4.7%	17.8%	1.7%	5.4%	0.5%	6.9%	18.1%



※全ての船種で、同じ船種に戻る割合が高くなる傾向。

※ガス船は、前職が新卒である割合が最も高く、新卒者の定着率の良さが表れている。

7. 採用・退職関係

(1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数 - 退職員数
平成27年	232	986	1,218	1,082	136
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
平成29年	296	1,116	1,412	1,190	222
平成30年	320	1,069	1,389	1,317	72
令和元年	343	1,265	1,608	1,232	376
令和2年	311	1,022	1,333	1,278	55
令和3年	318	1,155	1,473	1,187	286
令和4年	276	955	1,231	1,102	129
令和5年	300	906	1,206	1,236	-30
令和6年	224	897	1,121	1,059	62
合計	2,915	10,588	13,503	11,992	1,511

(※) 令和6年度新卒採用数が前年比△76名の大幅減となった。



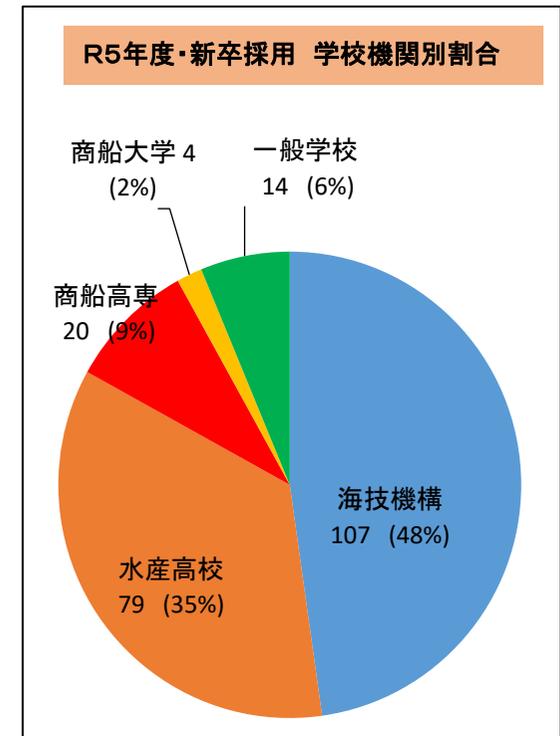
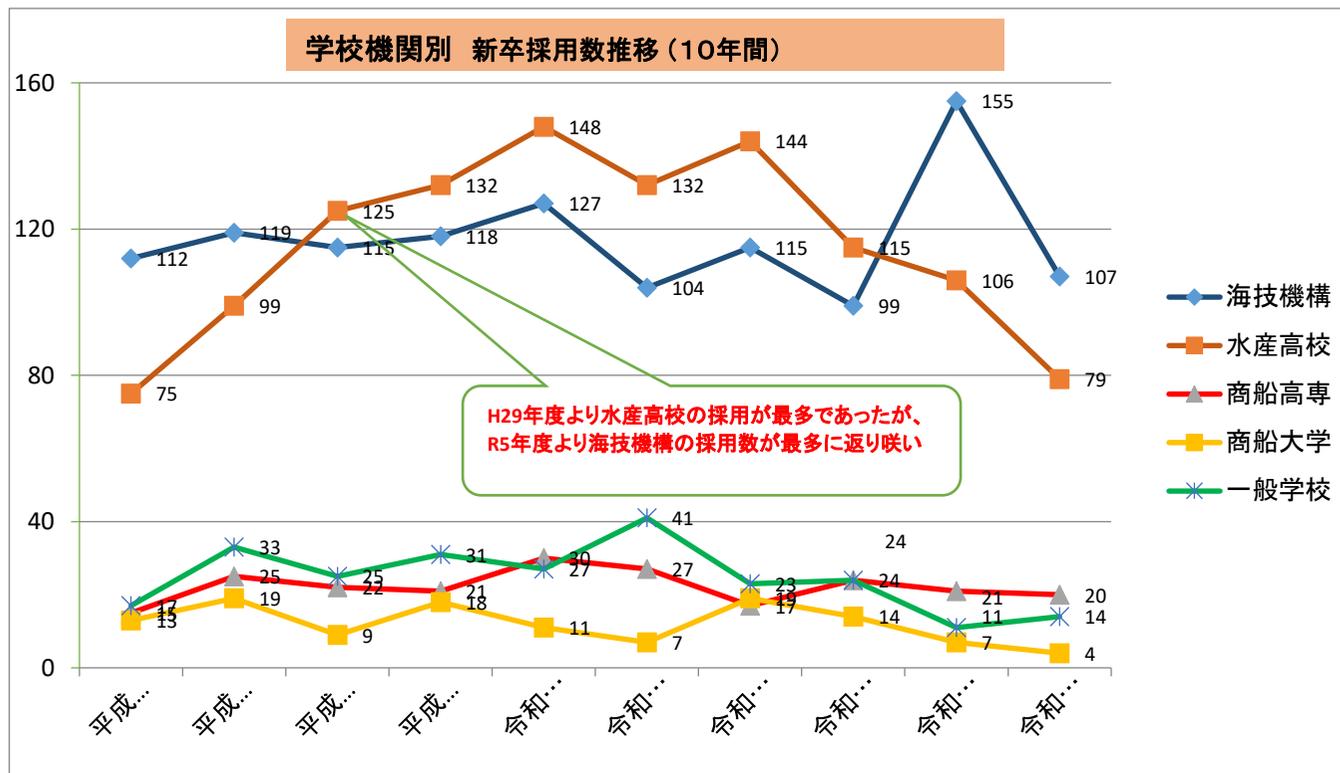
※10年間採用人数13,503名の内、中途採用者は10,588名と全体の78.4%を占めている。

(2)新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳(10年間)

	新卒						中途			合計
	海技機構	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成27年	112	75	15	13	17	232	830	156	986	1,218
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
平成29年	115	125	22	9	25	296	884	232	1,116	1,412
平成30年	118	132	21	18	31	320	872	197	1,069	1,389
令和元年	127	148	30	11	27	343	1,024	241	1,265	1,608
令和2年	104	132	27	7	41	311	833	189	1,022	1,333
令和3年	115	144	17	19	23	318	931	224	1,155	1,473
令和4年	99	115	24	14	24	276	781	174	955	1,231
令和5年	155	106	21	7	11	300	729	177	906	1,206
令和6年	107	79	20	4	14	224	706	191	897	1,121
合計	1,171	1,155	222	121	246	2,915	8,575	2,013	10,588	13,503
	40.2%	39.6%	7.6%	4.2%	8.4%	100.0%	81.0%	19.0%	100.0%	

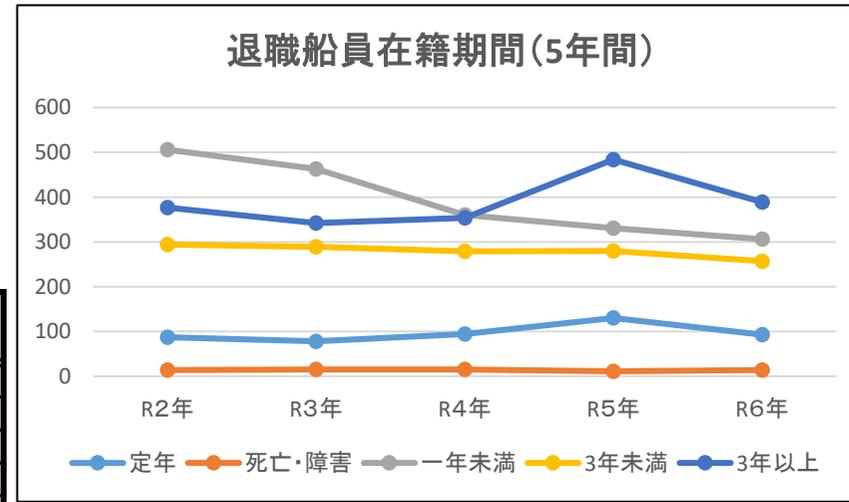
(※1)教育機関別の新卒採用数は、10年間合計では、海技学校・短大と水産高校が各々40%前後。

(※2)水産高校採用数79名の内訳 専攻科35名、本科44名 (R6年)



(3) 令和6年度退職状況

		職・部員合計				
		甲板	機関	その他	計	比率
定年		50	35	8	93	8.8%
死亡・障害		7	6	1	14	1.3%
在社期間	一年未満	178	86	42	306	28.9%
	3年未満	154	79	24	257	24.3%
	3年以上	270	97	22	389	36.7%
計		659	303	97	1,059	100.0%



(4) 令和2～令和6年在籍期間対比(5年間)

	職員・部員計					計	%
	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年		
定年	87	78	94	130	93	482	8.2%
死亡・障害	14	15	15	11	14	69	1.2%
一年未満	506	463	360	331	306	1,966	33.5%
3年未満	294	289	279	280	257	1,399	23.9%
3年以上	377	342	354	484	389	1,946	33.2%
計	1,278	1,187	1,102	1,236	1,059	5,862	100.0%

※ 離職数は5年間で減少傾向

(5) 新卒採用者の離職率

採用		離職時期・数			
時期	数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	計
1年前	213	46	—	—	46
3年前	256	49	56	—	105
5年前	221	45	54	35	134
計	690	140	110	35	285
離職率 (1)		20%	23%	16%	59%
離職率 (2)		43%		16%	59%

※ 新卒1年未満での離職(20%)は5名中1名(昨年調査24%)

※ 新卒3年未満での離職(43%)は半数未満(昨年調査51%)

※ 新卒5年未満で3名中2名(59%)が離職(昨年調査67%)

※ 昨年との比較では新卒者の離職率は、改善傾向。

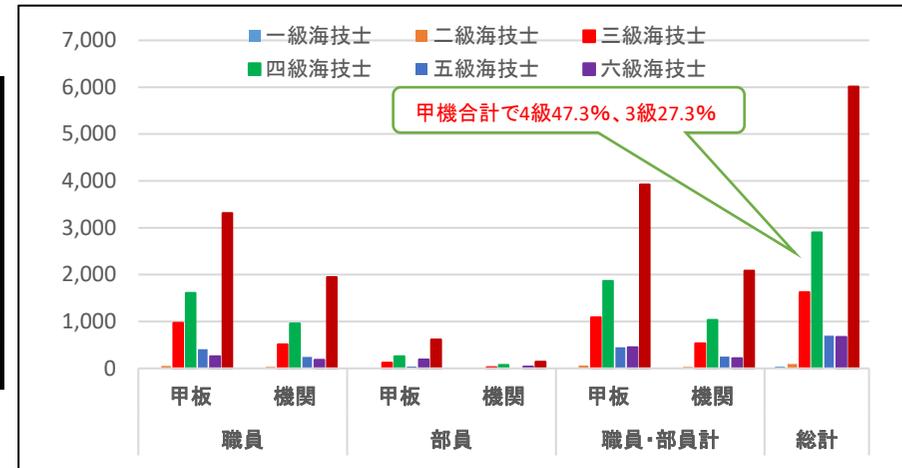
8. 海技免状保有状況

①甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	16	18	2	1	18	19	37	0.6%
二級海技士	53	33	4	0	57	33	90	1.5%
三級海技士	970	509	118	26	1,088	535	1,623	27.0%
四級海技士	1,610	960	257	72	1,867	1,032	2,899	48.2%
五級海技士	409	243	39	5	448	248	696	11.6%
六級海技士	258	183	192	35	450	218	668	11.1%
計	3,316	1,946	612	139	3,928	2,085	6,013	100.0%

※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板192名に対し機関35名と少ない。



②年齢別保有数

イ)航海士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	2	5	3	8	18
二級海技士	0	8	12	13	8	16	57
三級海技士	0	254	244	176	207	219	1,100
四級海技士	11	428	348	335	366	416	1,904
五級海技士	0	30	48	71	99	206	454
六級海技士	2	97	77	85	94	108	463
計	13	817	731	685	777	973	3,996

ロ)機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	0	2	1	3	13	19
二級海技士	0	1	9	3	6	14	33
三級海技士	0	117	116	80	91	141	545
四級海技士	6	218	228	171	188	242	1,053
五級海技士	0	18	19	44	52	116	249
六級海技士	3	46	63	51	39	21	223
計	9	400	437	350	379	547	2,122

9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	211	54	265	79.6%
下船中	108	29	137	78.8%
計	319	83	402	79.4%

10. STCW基本訓練受講状況・予定

受講時期								
1年以内受講 (又は済み)	2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	6年以内	対象外	未記入	計
1,942	1,591	1,101	861	673	339	851	90	7,448
26%	21%	15%	12%	9%	5%	11%	1%	100%

※ 本調査結果では、1~2年以内(2024/10~2026/10頃)の受講者数が最も多く混雑に注意

11. 船員不足の考察

① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
2	135	474	3.5	252	1,333	5.3	150	1,002	6.7	63	570	9.0	14	141	10.1	31	336	10.8	115	1,365	11.9	760	5,221	6.9
3	114	394	3.5	266	1,403	5.3	149	1,008	6.8	59	523	8.9	15	143	9.5	34	369	10.9	121	1,424	11.8	758	5,264	6.9
4	112	381	3.4	280	1,405	5.0	155	1,059	6.8	60	537	9.0	14	136	9.7	27	288	10.7	127	1,478	11.6	775	5,284	6.8
5	116	406	3.5	282	1,442	5.1	141	934	6.6	63	558	8.9	13	126	9.7	27	282	10.4	126	1,490	11.8	768	5,238	6.8
6	94	333	3.5	265	1,376	5.2	152	1,023	6.7	60	552	9.2	13	133	10.2	27	288	10.7	129	1,539	11.9	740	5,244	7.1
計	571	1,988	3.5	1,345	6,959	5.2	747	5,026	6.7	305	2,740	9.0	69	679	9.8	146	1,563	10.7	618	7,296	11.8	3,801	26,251	6.9

※ 令和5年度の平均乗員数は、5年間の平均よりも下回った船型が4船型であった(朱色囲み)。

② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
2	5,221	1,934	7,155	1.37
3	5,264	2,187	7,451	1.42
4	5,284	2,108	7,392	1.40
5	5,238	2,070	7,308	1.40
6	5,244	2,122	7,366	1.40
計	26,251	10,421	36,672	1.40

※予備員率は5年間平均で1.40、6年度は1.40で平均と同じ。

③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
2	7,126	6,752	374	5.2%
3	7,424	7,060	364	4.9%
4	7,394	7,035	359	4.9%
5	7,308	6,937	371	5.1%
6	7,366	7,024	342	4.6%
計	36,618	34,808	1,810	4.9%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で4.9%、6年度は4.6%で、若干減少。

④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
2	147	112	93	22	374	64.2%
3	144	113	87	20	364	63.5%
4	146	107	90	16	359	65.7%
5	156	102	89	24	371	66.0%
6	141	105	82	14	342	65.2%
計	734	539	441	96	1,810	64.9%
割合	40.6%	29.8%	24.4%	5.3%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば約8割以上。

(考察)

1. 実乗員数と予備員率からの考察

令和4年度から船員法の改正により労働時間管理の厳格化が行われている中、**中型船(750GT)以上で僅かに実乗員数の増加が見られたが予備員率に大きな変動はなかった**。これは昨年、同船型の実乗員数が下がったことと逆の現象であり、離職率の減少に伴う採用数の抑制など、中型船以上での雇用が落ち着き教育乗船に回せる環境が整って来たものと希望的に推測した。

2. 臨時・派遣船員

令和6年度は、**342名**の船員が派遣され、特に、**甲・機職員への派遣が6割以上**を占める例年同様の傾向に変化はない。ただし、**派遣船員数も伸びず供給が不足**していると推測される。

3. 若手船員の確保

新卒採用が**ここ10年間で最低数の224名**となった(10年前の232名より低い)。大型船所有船社が離職率の低下から採用数を抑制したことが要因と考えられるが、小型船やケミカル船の船主の船員不足が深刻な状況を見ると、オペレーターが雇用を抑制した場合、同グループの小型船船主の採用につながる仕組みがあると採用数の大幅な変動が避けられ、理想論だが一考の価値がある。

4. 船員不足への対応

船員の働き方改革により**労働時間の管理や罰則規程の法制化**、さらに**健康確保への配慮**も強化されたことから、**船員の働く時間と働き方の見直し**、**船の運航面の変更**も考慮せざるを得ない状況が続いている。今後も荷物と船舶の需給バランスの問題はあるが、少子高齢化の背景と陸上産業の労働力不足が重なり、船員需給が緩んで来ることは想像できず、船員不足がより顕著に表れることが危惧され、引き続きの対応が必要と考察される。

12. 船員対策委員会からの提言

- (1) 将来的に内航タンカー船員が選ばれる職業となるためには、労働時間遵守と健康確保を前提にした仕事のあり方、休日の付与等について、船主、オペレータ、荷主がコンプライアンスを前提にした協力を行い、「内航タンカー船員の働き方改革」を実現しなければならない。
このためには、国土交通省が設置した「安定・効率輸送協議会」及び「各製品別部会」での荷主対話の機会を最大限に活用すると共に、個社においては、荷主とオペレーター、オペレーターとオーナーが協議のもと、船員問題への前向きな取り組みが必要となる。
- (2) 特に、小型船の船員確保対策は、業界団体のバックアップと共に、オーナー、オペレーターの協力が必要である。
- (3) ベテラン船員の退職と新人船員の早期登用のバランスを取りつつ、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (4) 新卒者の積極的な採用と併行して、若年船員の早期離職の現状を踏まえ、退職防止と業界内つなぎとめ策の検討が必要である。
- (5) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (6) 小型船等において高齢船員への依存傾向が続いている中、安全確保のため労務の見直しや軽減策に配慮する必要がある。
- (7) SO_x規制による新燃料油の使用や暫定措置事業終了による建造方式の変更、中長期的なカーボンニュートラルへの対応等、業界環境も大きな変わり目を迎えている中、船舶の技術革新を今以上に進める必要がある。

以上